

## ニシゴリラの「モモコ」が出産しました！

千葉市動物公園から恩賜上野動物園へ共同繁殖（ブリーディングローン）のために貸し出している、ニシゴリラ「モモコ」が、5頭目の子どもを出産しましたので、お知らせします。  
なお、今回誕生した赤ちゃんは、上野動物園の所有になります。

### 1 出産日

平成29年10月9日（月・祝）9：22頃

### 2 性別

不明

### 3 両親

母親 モモコ 34歳

1983年 6月 3日	スペイン生まれ
1990年 3月 29日	千葉市動物公園へ来園
1999年 7月 27日	上野動物園へ繁殖貸与
2000年 7月 3日	モモタロウ（オス・第1子）を出産
2002年 7月 8日	千葉市動物公園へ帰園
2008年 12月 2日	上野動物園へ繁殖貸与
2009年 11月 14日	コモモ（メス・第2子）出産
2013年 4月 24日	モモカ（メス・第3子）出産
2016年 10月 12日	出産（子は死亡）

父親 ハオコ 24歳

1993年 8月 21日	オランダ生まれ
1996年 12月 6日	オーストラリア・タロンガ動物園に来園
2007年 6月 27日	上野動物園へ来園



【モモコと赤ちゃん】  
※恩賜上野動物園提供

### 4 現在の様子

10月10日（火）午前8時15分に授乳を確認しており、母子ともに健康です。また、母親のモモコは出産直後からエサを食べる様子も見られています。

群れの他の個体は落ち着いており、父親である「ハオコ」や他の2頭のメスが、距離を置いて見守っています。

## 5 出産までの経過

平成29年1月中旬、上野でオスの「ハオコ」と複数回の交尾やマウントが確認されました。妊娠の指標となる尿中ホルモンを検査したところ、2月14日に採尿したサンプルの結果から、妊娠と判定しました。妊娠の影響からか、2月中旬以降、モモコには偏食や水を飲む量が増加するなどの体調変化が見られます。

(平成29年4月11日発表済み)

野生のゴリラは群れで生活する動物のため、上野動物園ではシルバーバックのオス「ハオコ」を中心として、メスの「トト」、「ナナ」、「モモコ」、「コモモ」、「モモカ」の6頭でゴリラの群れをつくって飼育を行っています。

10月9日、朝の時点でモモコに目立った変化は認められず、他の群れのゴリラとともに通常どおり午前9時過ぎに寝室から運動場へ出ました。間もなくして、モモコはうつぶせになっていきむような素振りを見せはじめ、うろうろしたり、座ったり、うつぶせになったりする動作を繰り返し、群れの仲間が見守る中、9時22分頃に1頭の赤ちゃんを出産しました。モモコは出産後、すぐに赤ちゃんを抱き、体の表面をなめるなどの世話を始めました。

群れの中では、先に生まれた姉妹の「コモモ」と「モモカ」は強い興味を持ち、赤ちゃんの様子を近くで見たり、時には触ったりもしました。

## 6 子どもの公開予定

上野動物園では、母子の状態は安定し、群れの他の個体も落ち着いていると判断しましたので、本日開園時から放飼場に出ています。ただし、母子や群れの状態によっては、急遽室内に収容するなど展示を見合わせる場合もありますので、ご了承ください。

## 7 当園での飼育状況

飼育総数 2頭（オス1頭、メス1頭）

- ・オス 「モンタ」 33歳 1990年3月29日、モモコと同時に来園
- ・メス 「ローラ」 40歳 2008年12月8日来園

## 8 当園所有のゴリラの飼育園

- ・オス 「モンタ」 千葉市動物公園
- 「モモタロウ」 京都市動物園へ繁殖貸与中（モモコの第1子）
- 「ゲンタロウ」 京都市動物園で誕生
- ・メス 「モモコ」 東京都恩賜上野動物園へ繁殖貸与中
- 「モモカ」 東京都恩賜上野動物園で誕生（モモコの第3子）

## 《参 考》

### 1 ニシゴリラについて

- (1) 種 目 霊長目 ヒト科
- (2) 学 名 *Gorilla gorilla gorilla*
- (3) 大きさ 頭胴長 150～170cm 体重 90～180kg
- (4) 分 布 コンゴ、ガボン、カメルーン等の熱帯雨林に生息
- (5) 生態等 体色は黒が基本であるが、褐色や灰色がかっていることが多く、オスは頭の毛が赤茶色の個体が多い。成獣のオスは背中から太ももにかけて体毛が白くなる「シルバーストック」になる。

シルバーストック 1頭にメス数頭と子どもたちからなる10頭前後の群れで生活している。草木のほか、果物、昆虫も食べる。西アフリカで20万頭以下が生息していると推測されているが、環境破壊、病気、狩猟で減少の危機さらされている。

- (6) 繁殖の過程 ゴリラのメスはおおよそ7歳で性成熟し、野生での初産は10歳前後が普通。妊娠期間は約8.5か月と報告されている。出産間隔は4年で、寿命は40～50年であり、生涯に2～6頭出産する。新生児の体重は、約2kg、9週齢でハイハイをし、30～40週齢で歩き始め、2.5～3歳で離乳する。

- (7) 国内飼育状況等（平成29年10月10日現在）

飼育園数 7園 オス9頭 メス11頭 不明1頭 計21頭

なお、国内における出産事例は少なく、平成29年10月10日までに国内で誕生したのは、全17頭（現在生存しているのは10頭）のみとなっている。

※今回誕生した赤ちゃんを含みます。

※出典：公益社団法人日本動物園水族館協会 2016年ニシゴリラ国内血統登録台帳

### 2 ブリーディングローンについて

繁殖を目的とした動物の貸借契約のことで、動物園間で動物を移動させることにより新たなペア形成を促し、繁殖に寄与する目的で行う。

当園所有の「モモタロウ」はこのブリーディングローンにより、京都市動物園へ貸し出し、京都市動物園の「ゲンキ（メス）」との間に平成23年12月21日に子ども「ゲントロウ」が生まれ、その後も京都市動物園で元気に暮らしている。